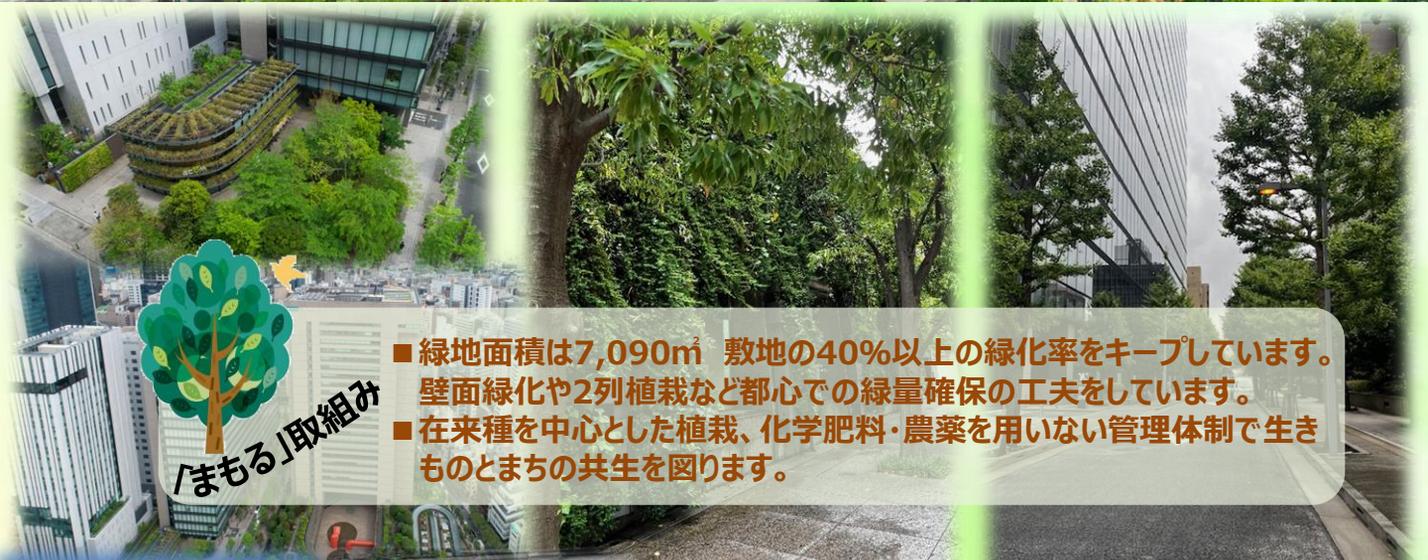


三井住友海上 駿河台緑地の取組み

生きものも、ひと、こちよく暮らせる緑地をめざして

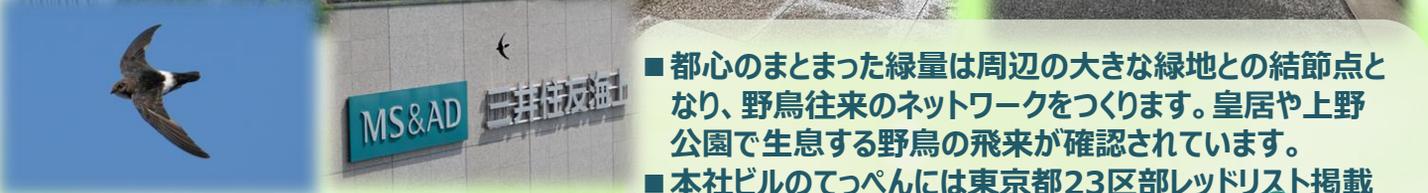


三井住友海上火災保険株式会社



「まもる」取組み

- 緑地面積は7,090㎡ 敷地の40%以上の緑化率をキープしています。壁面緑化や2列植栽など都心での緑量確保の工夫をしています。
- 在来種を中心とした植栽、化学肥料・農薬を用いない管理体制で生きものとの共生を図ります。



- 都心のまとまった緑量は周辺の大きな緑地との結節点となり、野鳥往来のネットワークをつくります。皇居や上野公園で生息する野鳥の飛来が確認されています。
- 本社ビルのおっぺんには東京都23区部レッドリスト掲載の「ヒメアマツバメ」が営巣しています。下に広がる緑地のおかげで餌となる昆虫が豊富なこと、外敵から身を守る環境であることから長年気に入ってますんでくれているようです。



「育てる」取組み



再開発時に取り組んだエコロジカルネットワーク構想

緑地認証制度のSEGES、東京都江戸のみどり、ABINC等いずれも優良評価認定を受けています。また、環境省「自然共生サイト」に登録し、国際目標の30by30に貢献する緑地です。



三井住友海上のネイチャーポジティブの取組みを詳しくご紹介しています。当社オフィシャルサイトをご覧ください。

- 屋上庭園の土厚は平均1m。雨を蓄え、下水道に流れ込む雨量抑制にも一役買います。当社は東京都の「雨水しみこみアンバサダー」に登録し、雨水流出抑制取組みの広報・普及啓発に協力をしています。
- 屋上庭園では毎月のバードウォッチング、菜園の貸出しなど地域に開かれた交流の場として活用されています。
- 保育園児のお芋ほり、小学生の田植え・稲刈り体験授業など郊外へ出かけずとも近場の自然を活用した環境教育も可能です。



「活かす」取組み

屋上庭園内に備えた田んぼでは近隣小学校の児童が田植え体験も

ECOM駿河台では、環境・生物多様性取組に関するイベントや企画展示を行っています。メルマガ登録希望はこちらまで



都心で野菜作りができると大人気の屋上菜園

地域の皆さんと楽しむバードウォッチング

所在地：東京都千代田区神田駿河台3-9/3-11-1
JR「御茶ノ水」駅 聖橋口
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅B3b出口

保育園児によるお芋ほり